

気 象 台 全 景

地方だより

青森地方気象台

天気図を見ますと、本州の北の端にある一寸変わった形をした地方が見られます。これが青森県の位置です。見方によっては片隅の寒い地方としかみられないが、本州の北端とはいえ頭部とも考えてよい位置にあり、目下開発途上にあつて躍進の気がみなぎっています。

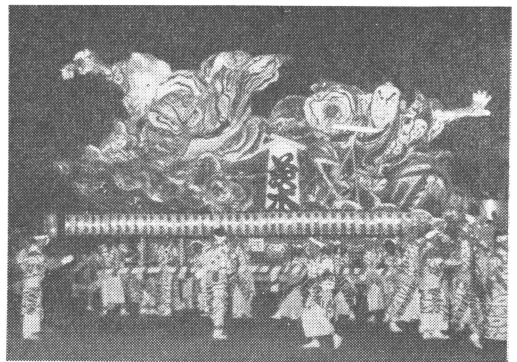
果物王として人々に親しまれている“りんご”青森りんごの産地である青森は全国でも名立っておりましよう。当県の面積は9624平方軒を占め、海岸線も680軒に達し本州一位で、北は津軽海峡を隔て、北海道に対し、東は太平洋、西は日本海に面し、中央に陸奥湾をいだき名実共に海洋県とも云われています。又農作物では津軽地方で収穫される津軽米は、これ又全国第二位と云う量においても質においても優秀な米を産し、未開地の名称をいたゞいていた当県も今では認識をあらたにされているのではないのでしょうか。

気象官署も北に田名部測候所、太平洋側には八戸測候所、日本海側には深浦測候所を配し、三沢航空基地には三沢航空測候所があり、県の中央に当青森地方気象台が位置しています。

こゝ青森市は北海道とむすぶ幹線であり海上4時間であの有名な洞爺丸海難などのあつた青函航路の一端であ

ります。日本交通公社発行の時刻表には客船の4航海より示されていないが、更にこの外荷物連絡船(国鉄関係)が17往復運航されています。

県全体は又名所も多く、施設では若干未完のところもあるが、風光地形など行楽の県にふさわしいところが数多く、その一例を紹介しても、十和田湖の四季あり、国立公園の中には樹氷の八甲田山、紅葉の追良瀬溪流、又下北半島には天下の霊場恐山あり、温泉もいたるところに散在し、質朴な津軽美人の応待で楽しくすごすことも出来るでしょう。春は弘前城の桜、夏は名物“ねふた祭”も昼夜の市内運行にたゞたゞ美事だと感歎するのみ、秋は赤く実つたりんご畑の美しさ、冬は八甲田山のスキーと観光事業も益々発展をみせています。あまり長くなりまですので又チリ地震津波の被害調査などもあつて、あとは次回にゆずることゝします。(齊藤邦雄記)



ね ぶ た 祭 り